

山本麻紀子 いつかの話 あの人の風

Exhibition

Makiko Yamamoto Stories and the Breath of Life 2019年2月17日(日) - 2月24日(日)

芸術と福祉とは、決してかけはなれた存在ではなく「人の豊かな生き方を追求する」点で通底する考え方を持つのではないのでしょうか。

社会と人間の関係への異なる視点と手法を持つそれぞれが、豊かさに向け、ともに尊重しあいながら行動することは可能でしょうか？

京都市の「文化芸術による共生社会実現のための基盤づくり事業」の一環として実施する、アーティストの山本麻紀子による「ノガミッツプロジェクト」は、総合福祉施設東九条のぞみの園の利用者・入居者、職員との対話から構想・展開されています。

地域の方々の願いで24年前に設立された施設と、数年前から近くに住むアーティストとの出会いから生まれた、作品や物語の展覧会「いつかの話 あの人の風」を開催いたします。

※ノガミッツ：のぞみのその→「の」が3つ→ノガミッツから山本が名付けました。

本プロジェクトは、作品制作とノガミッツガーデンとから構成され、精神と環境面の双方から、人と生きる場の関係性を考える試みとして、互いに響きあいます。作品の一部は入居者に贈られ、一部はガーデンの土に埋められる予定です。その土で植物が育ち、野菜になり、あるいは心を和ませる花になり、また土に戻るかもしれません。新しい出会いもあるでしょう。育まれるいのちの循環の中に、それぞれの物語や記憶、今この瞬間の生の感覚が接続されることで、施設に関わる方々がより豊かに過ごせる場所になるのではないのでしょうか——。願いと問いの間で、プロジェクトは進行しています。

本展は、歴史の中で共生社会の実現に向け取り組みを続けてこられたこの場所での新たな表現を通し、人や、人だけではない様々なものに関わり、生きることについて皆さんと一緒に考え続けようとするものです。

ノガミッツ プロジェクト

展示作品

山本が、施設に住まう人々(=入居者)と対話を重ね、時に言葉だけでなくまなざし、振る舞いなどから抽出したモチーフを中心に、様々なかたちで作品を展開しています。作品は、地域に根ざす草花から色を採集し、糸や布を染める・土をこね、成形し、焼成するといった過程を通じ、人だけでなく自然との対話の中で制作されています。

ノガミッツ ガーデン

地域の方々からの「おすそわけ」の植物によってつくられる「のぞみの園」の中庭。山本が日常生活の中で「植物のおすそわけ」から周囲との新たな関係を見出した体験をもとに、陽の光や風が心地よく入り、人々が集う場所として、のぞみの園の職員・利用者と協働で庭づくりが進められています。

展示関連企画

オープニング

2019年2月17日(日) 17:00-19:00 会場：元山王小学校 ①
17:00- 物語の朗読
アーティストを囲んで、オープニングを開催いたします。どなたでもお越しください。

トークイベント

2019年2月23日(土) 15:00-16:30 / 無料・予約不要
会場：京都市地域・多文化交流ネットワークセンター内 希望の家ホール ②
スピーカー：小笠原邦人(東九条のぞみの園施設長)、西川勝(臨床哲学者)
山本麻紀子(アーティスト)

司会：あごうさとし(本事業コーディネーター)

アーティスト・コーディネーター・福祉施設長が一堂に会し、ゲストに臨床現場での実践と哲学的考察を重ねている西川勝氏を迎え、それぞれの立場から本プロジェクトについて語ります。

みんなでお庭づくりの日

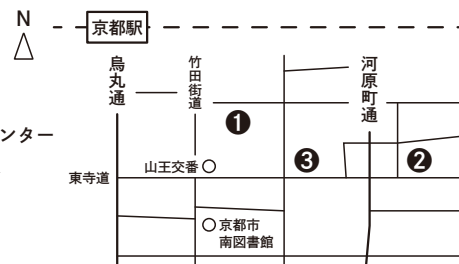
2019年2月24日(日) 14:00-16:00 会場：「東九条のぞみの園」③ / 無料・予約不要
ノガミッツ ガーデンを開放し、おすそ分け植物の植え付け・野菜の収穫をいたします。暖かく動きやすい格好でお越しください。

お問合せ

本展覧会に関するお問合せは下記までお願い致します。
東山 アーティスト・プレイスメント・サービス (HAPS)
電話：075-525-7525 (火-土 | 10:00-18:00) メール：info@haps-kyoto.com

各会場へのアクセス

- ① 元山王小学校
住所：京都市南区東九条東山王町27
- ② 京都市地域・多文化交流ネットワークセンター
住所：京都府京都市南区 東九条東岩本町31
- ③ 総合福祉施設 東九条のぞみの園
住所：京都府京都市南区東九条西岩本町1-1



山本麻紀子 / アーティスト

1979年京都市生まれ。京都市立芸術大学 大学院 絵画専攻 構想設計修了。ある特定の場所のリサーチを通して観察や考察を続け、常識や習慣など日常の中で見過ごされている事柄や疑問を糸口にして、他者とのコミュニケーションを発生させるプロジェクトを行う。その一連の過程を、写真、映像、ドローイングなど様々な形式に展開させて作品制作を行っている。

あごうさとし / コーディネーター

劇作家・演出家・(一社) アーツシード京都代表理事。「複製技術の演劇」を主題にデジタルデバイスや特殊メイクを使用した演劇作品を制作する。2014-2015年文化庁新進芸術家海外研修制度研修員として3箇月パリに滞在。2019年の開館を目指して、東九条の新しい劇場「Theatre E9 Kyoto」建設プロジェクトを進めている。平成29年度京都市芸術新人賞。

東山 アーティスト・プレイスメント・サービス (HAPS) とは

2011年、東山アーティスト・プレイスメント・サービス実行委員会設立。「若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくり」を主な目的とし活動を行う非営利組織。相談窓口を開設し、空き家や空きスタジオの情報提供やマッチング等を通して、若手芸術家の京都市への定着を促進するための活動を行うほか、京都市内の芸術家を対象に、制作・発表を包括的に支援している。2017年、「文化芸術で人が輝く社会づくりモデル事業」を京都市より受託・実施した。



「文化芸術による共生社会実現のための基盤づくり事業」とは京都市では、文化芸術の力で社会的課題の緩和・解決に取り組む多くの活動事例を踏まえ、文化芸術と社会課題をつなぎ、コーディネートするための人材育成や、文化芸術の取組に着手しようとする際の相談窓口の設置など、文化芸術による共生社会を実現するための取組として、「文化芸術による共生社会実現のための基盤づくり事業」を実施しています。

HAPSは、京都市から「文化芸術による共生社会実現のための基盤づくり事業」の委託を受け、文化芸術の力で様々な立場の人が関わり合うアートプログラムを企画・実施しています。

制作協力：小西由梧(作庭協力) / Kim Sajik(作品撮影) / 中村裕太(陶制作協力) / Kim Song Gi・中谷利明(記録) デザイン：永戸栄大
発行：京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課 平成31年1月発行 京都市印刷物：第304931号

